

—— 学術・情報機構 ——

前号に引き続き、本学の運営を担う機構を紹介いたします。今回は、女性支援室、社会連携・広報推進室、情報推進室から構成される学術・情報機構です。それぞれの室長に紹介していただきます。

女性支援室

『元気印が含言葉』

女性支援室長 河野 貴代美

女子大に学生支援室がありさらに女性支援室を設置するのは何か理由があるのだろうか？と思われるでしょう。はい、あるのです。

前者が学内の学生のみを対象とすれば、私達は、卒業生や職員をも含み、一般的に、女性たちの就労支援を射程に入れていきます。このような方針のもと、まず(財)「女性と仕事の未来館」(以下「未来館」と)の連携を考えました。意図を了解して下さった相談事業統括の職員の方が、常時「室会議」に参加くださっております。

室はこれまですでに学内における教職員の男女差を調査しております。いずれ何かの媒体手段を通して、報告するつもりです。さらに大学の「中期目標・計画」に照らして、どのような企画立案をしていけばいいか、アンケート調査を行ないました。これも機会をみて報告いたします。

今年、室の最大イベントは、徽音祭に学生、「未来館」との共同主催で、「人生プランと仕事(仮題)」といったようなシンポジウムを企画することになりました。学生側も大いに乗り気になってきています。シンポのテーマは今後、詰めていかなければなりません。学長や「未来館」の館長、学生等のシンポジストを予定しています。

今後はキャリア・アップの個別相談室の設置、他の女子大学との連携(コンソーシアムのようなもの)そして最終的には女子大の存続を可能ならしめる女子教育の必要性に向けた理論の構築です。元気印たる所以でしょうか？

社会連携・ 広報推進室

『オシャレコウスイ！』

社会連携・広報推進室長 篠塚 英子

われわれの組織名は漢字が全部で八文字もあり、やたら長いので覚えるのが難しい。そこでお茶の水、社会、連携、広報、推進のトップ五文字を繋ぐとオシャレコウスイ。これはゴロがよいとひそかに気に入っております。そこでわが室からはオシャレな企画をご報告します。

表紙が一段と華やいだ本誌Tea Timesは柴坂編集長によるもので、現在キャンパス内に群生する草花がトップを飾っています。お茶メール教職員版と学生版は、山本学術情報機構長と菅先生の名コンビ。もっと大規模なホームページ担当は大瀧先生。さらに目下顕著にメディアに登場しているのが、北区や文京区との地域社会との連携で、これを一手に引き受けている千葉先生。特に北区との連携は、多様な人材を抱える本学にとって教育、研究両面で他大学との差別化をするチャンスにしたいものです。

また種々雑多の大学案内など広報誌のリニューアルは予算との戦いですが、こちらは宮尾先生が格闘しております。最後に西村企画広報課長は、これら教員と事務職員の間をコーディネートする重要な役割です。

さらに卒業生、近隣住民の方との交流などはNPOお茶の水学術事業会と共催したさまざまな企画・実行を試みており、さっそく大学・附属学校園の広報にとって役立つ「お茶大ゴフル」【600円】というオシャレな商品開発の発売にこぎつきました(申し込み info@npo-ochanomizu.org)

目下の緊急課題は学内でバラバラに発信していた広報活動を、本室で集中管理するシステムを構築することです。

『情報推進室紹介』

情報推進室長 會川 義寛

情報推進室は、総合情報処理センターと密接に協力しつつ、目下以下の3点に対処しております。

ひとつは、学内情報基盤（インフラ）の構築と整備です。基盤を意識することなく安心して依拠・使用して頂ける様に管理することが基本です。また、学生や教職員に対する情報周知システムの整備も急務です。掲示板方式（パソコン・携帯端末から学生・教職員側が見に行く）とラジオ方式（学生・教職員のパソコン・携帯端末に大学側から送付する）の両者をスムーズに機能させる様検討しています。

次は、各部局が有する情報資産を相互整備して、大学として整合性のある情報システムを構築することです。最初に情報作製の段階がありますが、これは各部局で行なうものです。つぎにその分類と階層化を行なわなければなりません。これが、各部局ごとに作製・保管している情報資産の多方面多目的合理的利用化と適切な安全管理の基礎になります。このため、やや遅きに失しておりますが、現在、各部局の情報システムおよびその管理体制の現状把握調査を行なっております。関係の皆様には御協力よろしくお願い致します。またこれと併行して、大学としての情報安全管理指針（セキュリティポリシー）の作製を行なっております。これも他大学に大きく遅れております。急ぎ検討中です。

3つ目は、情報に関する教育と啓蒙です。学生に対してはコア科目における情報基礎教育（科目・施設・教材）を通じてこれを一律一斉に行ないます。しかし教職員に対してはその様な場がありませんので、啓蒙マニュアルの作製などを通じて、公開性・利便性と安全性とが調和した大学の情報システムに思いを馳せて頂く一助にしたいと考えております。



監事・経営協議会委員(学外)紹介

4月1日よりお茶の水女子大学は国立大学法人お茶の水女子大学へと生まれ変わり、学長・理事で構成される役員会の他に、監事2名と経営協議会がおかれました。

本学の業務の監査をする監事と経営に関する事項を審議する経営協議会の学外委員をご紹介します。

【監 事】

- | | |
|----------------|-------|
| ・ 古河電気工業株式会社顧問 | 桐村 晋次 |
| ・ 山田法律特許事務所所長 | 山田 勝重 |

【経営協議会委員(学外)】

- | | |
|------------------------|-------|
| ・ 凸版印刷株式会社代表取締役社長 | 足立 直樹 |
| ・ 元青山学院女子短期大学学長 | 阿部 幸子 |
| ・ 株式会社資生堂代表取締役社長 | 池田 守男 |
| ・ 日立金属株式会社取締役 一橋大学客員教授 | 生駒 俊明 |
| ・ UBS銀行グループ日本代表兼副会長 | 江澤 雄一 |
| ・ 読売新聞東京本社調査研究本部主任研究員 | 北村 節子 |
| ・ 学校法人早稲田大学副総長・常任理事 | 關 昭太郎 |